

令和5年度 第1回 帯広市有林野管理経営審議会 議事概要

○日 時 令和5年6月7日（水） 10時00分～11時00分

○場 所 市役所庁舎10階 第2会議室

○出席者 委員：阿部委員、家常委員、今井委員、岡崎委員、春日委員、
櫻井委員、須田委員、中野委員、平田委員、森委員
事務局：桃井農政部長、小林農政室長、廣瀬農村振興課長、鈴木農村振興課長補佐
勝野係長、工藤主任補、岡主任補、山後主任補（林業振興係）
傍聴者等：報道関係者1名

○配布資料 資料1－1 帯広市有林野管理経営審議会概要
資料1－2 帯広市有林野管理経営審議会条例
資料2 帯広市の森林について（全体）
資料3 帯広市内の森林種類
資料4 市有林の概要
資料5 令和5年度林業振興関係事務事業別 予算対比増減調
資料6 施業計画比較表
資料7 帯広市森林整備計画の変更について
ほか、帯広市森林施業計画、帯広市森林整備計画変更計画及び新旧対照表

1. 開会

2. 委嘱状の交付

池原副市長より、委嘱状を各委員へ交付

3. 副市長挨拶

副市長の池原でございます。本日は、お忙しい中、ご出席を賜りありがとうございます。米沢市長は、他の公務のため出席できませんので、会議の開催にあたり、わたくしから一言ご挨拶申し上げます。

皆様には、日頃より本市の森林・林業行政に、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。ただいま、委嘱状をお渡しいたしました。本審議会の委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

国土の約3分の2を占める森林は、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全のほか、木材等の生産など、多面的な機能を有し、人々が健全な生活を送るうえで、欠かせない役割を果たしています。また、本市では、昨年 脱炭素社会の実現に向け、2050年までに、二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す、「ゼロカーボンシティ」を表明しましたが、この実現には、植林や地域材の活用などによる二酸化炭素の吸収が非常に重要なものとなっています。

こうした森林のもつ機能が持続的に発揮されるよう、将来のビジョンをしっかりと持ち、適切かつ計画的に森林管理を進めることが必要です。このため、帯広市では、帯広市森林施業計画を策定し、市有林の計画的・効率的な管理に努めているところです。

委員の皆様には、専門的お立場から、本市の森林整備 並びに林務行政に対して活発なご審議を賜りますよう、お願い申し上げます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

4. 自己紹介

各委員が自己紹介

5. 事務局紹介

農政部長による職員紹介

6. 議事

(1) 正副委員長の選任

農政部長が議長代行として議事進行。帯広市有林野管理経営審議会条例第5条第1項の規定により、委員長は平田委員、副委員長は家常委員に決定。

(2) 委員長挨拶

委員長を仰せつかりました平田です。微力ですが努めさせていただきます。どうか、よろしくお願いいたします。なかなか堅苦しい雰囲気意見も出しづらいかと思いますが、皆で意見を出し合えればと思います。新しい体制での一回目の会議ということで、これから事業計画の説明とかがありますが、多様な分野から来られてますので、皆さんからのそれぞれの立場から意見を出していただければと思います。

昨今、災害も頻出しています。この林業関係の予算で森林が維持できるか見ていければと思います。期間は2年間となりますが、どうか、よろしくお願いいたします。

(3) 報告事項

- ・帯広市有林野管理経営審議会概要について（資料1）
- ・市内の森林の現状について（資料2～4）
- ・令和5年度予算について（資料5）
- ・帯広市森林施業計画（第13次市有林施業概要）の進捗について（資料6）
- ・帯広市森林整備計画の変更について（資料7）

資料に沿って、事務局より説明。

<委員からの意見・質疑>

【委員】

伐採適期を迎えている人工林のカラマツが半分以上占めているとのことだが、今の施業計画では、主伐が5年間で約50ha、単年度では約10ha計画している。伐採適期のカラマツが約160haある中で、毎年この主伐のペースで間に合うのか。

【事務局】

森林整備計画ではカラマツが 48 年生で主伐できる林齢としているが、保安林は年間で伐ることのできる面積の上限を北海道で定めているので、それを踏まえて計画しているところ。また、伐った後には植栽を行う必要があるが、苗木の確保の調整、林業事業体の体制を考慮すると、現在の主伐面積を維持していくことを第一に考えている。今後、植林ができる体制が整っていけば、次期計画で主伐面積の増加を検討していきたい。

【委員】

特に意見はないが、国有林の取組みを紹介したい。今年度帯広市内の国有林における伐採で 2,100 m³の出材積を予定している。ほかに、国と民間で共同の中間土場の作成や、クリーンラーチの植栽時、大型機械での地拵え（じごしらえ）により、植栽後の下刈りの回数をゼロにする、もしくは減らす取組みを行う考え。市とも条件があう場所があれば、一緒に取り組んでいきたいと考えている。

【委員長】

帯広市では、今年度クリーンラーチの植栽を行っているのか。

【事務局】

今年度は桜木町で植林を行っている。クリーンラーチの苗木は北海道で管理し配分している。今後も、北海道と調整しクリーンラーチを確保し、植林を進めていきたい。

【委員】

高齢のカラマツが多くあるとのが、伐採を計画的に進めないと、どんどん増加する一方であると思うので、1年あたりの伐採面積の引き上げを検討して欲しい

市有林はきれいに整備されており、道路の横にあるため見に行きやすい。時期が分かれば施業を見学に行きたい。今年度の事業計画は決まっているかどうか。

【事務局】

年間計画は決まっている。各施業の時期が近づいてきたら、契約を都度行っているところである。

【委員】

市有林とは関係ないかもしれないが、市は森林環境税をどのように使っているのか。積極的な活用をお願いしたい。

【事務局】

今年度の森林環境譲与税の使途は私有林の整備に対する補助、林道等維持管理、木育など普及啓発の取組みなどを行っている。今年度は譲与税額を上回る事業費を計上したところである。

【委員】

市内に帯広の森やはぐく一むなどのことを知らない市民が多くいる。もっと知ってもらいたい。カラマツなども色々な使い道が出てきて見直されてきている。市の財産なので活用方法など、せっかく多様な人たちが集まっているので、皆で考えていきたい。

(4) その他

特になし

7. 閉会